

第83期 決算公告

2022年6月30日

千葉県市原市潤井戸2082番地
千葉積水工業株式会社
代表取締役社長 山岡修司

貸借対照表

2022年3月31日 現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	2,765,210	流動負債	5,743,854
現金及び預金	76	支 払 手 形	1,536
売 掛 金	2,266,002	買 掛 金	1,884,269
製 品	47,532	短期借入金	3,610,573
原 材 料	278,956	リース債務	17,547
仕 備 品	99,251	未 払 金	29,282
前 払 費 用	45,682	未 払 費 用	88,235
未 収 入 金	27,701	未 払 法 人 税 等	36,795
その他の流動資産	6	未 払 消 費 税 等	26,136
		前 受 金	553
		預 り 金	2,633
		賞 与 引 当 金	46,276
		その他の流動負債	12
固定資産	2,549,828	固定負債	353,617
有形固定資産	2,432,596	リース債務	25,408
建 物	1,082,382	長期未払金	4,836
構 築 物	136,441	退職給付引当金	323,373
機 械 装 置	743,689		
工具器具備品	118,269	負 債 合 計	6,097,471
土 地	210,920		
リース資産	42,955	(純 資 産 の 部)	
建設仮勘定	97,938	株 主 資 本	△ 782,432
無形固定資産	9,187	資 本 金	450,000
施設利用権	650	資 本 剰 余 金	87,147
ソフトウェア	8,537	資 本 準 備 金	37,147
投資その他の資産	108,043	その他の資本剰余金	50,000
長期前払費用	3,274	利 益 剰 余 金	△ 1,319,580
繰延税金資産	103,893	利 益 準 備 金	41,000
敷金及び保証金	876	その他の利益剰余金	△ 1,360,580
		別途積立金	950,000
		繰越利益剰余金	△ 2,310,580
		(内当期純利益)	(46,552)
		純 資 産 合 計	△ 782,432
資 産 合 計	5,315,039	負 債 及 び 純 資 産 合 計	5,315,039

個別注記表

千葉県市原市潤井戸2082番地
千葉積水工業株式会社
代表取締役社長 山岡修司

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- 1) 製品 総平均法に基づく原価法
2) 原材料 移動平均法に基づく原価法
3) 仕掛品 移動平均法(一部個別法)に基づく原価法
なお、貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算出しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- 1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定額法
2) 無形固定資産(リース資産を除く)
 ソフトウェア 定額法
3) リース資産
 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(3) 引当金の計上基準

- 1) 賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため、前1年間の支給額を基礎とした見積額を計上しています。
2) 退職給付引当金 従業員退職金及び役員退職慰労金の支出に充てるため、従業員分については当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、また役員分については内規に基づく期末要支給額を計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

商品等の販売は主に塩化ビニル管等の販売である。商品等の販売は、引渡時点において顧客が当該商品等に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断し、当該時点で収益を認識している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。
ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としています。

(6) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しています。

2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 6327623 千円
(2) 関係会社に対する短期金銭債権 2271193 千円
 関係会社に対する短期金銭債務 1121985 千円

3. 1株当たり情報に関する注記

- 1株当たりの純資産額 △65円20銭
1株当たりの当期純利益 3円87銭

注) 記載金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています。